

関西創価SGHにおけるNIEの取り組み

異なる価値観に触れる

■テーマ設定の理由

今日の地球的課題である「環境・開発・人権・平和」の4分野について、さまざまな教育プログラムを開発し、全校生徒が3年間をかけて学びを深めてきた。この取り組みを通してグローバルリーダーへと成長していく使命感を高めていく一方で、必要性をより一層強く感じるようになったものが「多様性」である。そこで、異なる価値観に触れること、自分の考えを持つこと、自分の考えを表現することをトレーニングする機会をつくっていくことはできないかと考えたとき、その最も有効な教材が新聞なのではないかと考えた。同じ事象であっても、新聞によって捉え方は大きく異なる。そこに新聞各社の価値観が表れている。この新聞社の価値観を比較しながら、異なる価値観に触れること、そして自分の考えを表現することを目指して、新聞を活用した取り組みに挑戦した。

■実践の概要

これまでのNIEの取り組みに加え、生徒の有志で新聞記事の読み比べに挑戦することにした。

まずは、NIE実践指定校として提供して頂いている新聞各紙から、価値観の違いが浮き彫りになる題材はないか、探すところから始めた。最も顕著に価値観の違いが表れるのは社説であると考え、在阪5紙を比較していったが、あいにくすべての社説に共通して取り上げられている時事がなかったため、比較が難しいと判断した。

さらに読み比べを進める中で、新聞各紙を比較するのではなく、記事の内容そのものについて意見が分かれるものを取り上げた方がよいのではないかという声が生徒からあがった。話し合った結果、高校生の関心も高まっていた「アメリカ大統領選挙」について取り上げることに決まった。

アメリカ大統領選挙に関する記事を収集し、誰が大統領に就任すると、その後どのような展開につながると考えているか、記事を読み比べながら探っていった。



▲学年によっても支持に差がでることを想定し学年別に色を分けたシールを設置。

当初は新聞ごとで支持の違いが出てくるのではないかと考えて読んでいたが、目を通してみると中立な立場での報道を守っている印象であった。そこで、「あなたはどの新聞の主張に賛成しますか」という問いかけではなく、「あなたはどちらの候補を支持しますか」という分かりやすい問いかけに変更することにした。

そして全校生徒にも参加してもらえようという掲示物を作ろうと話し合った結果、記事を読んで賛同できるものにシールを貼るといった参加型のポスターを作ることとなった。

完成したポスターを掲示してみたところ、わずか1週間足らずで多くの生徒がシールを貼って意思表示してくれた。連日のマスコミによる報道にやや偏りがあると感じていた生徒たちは、一方に支持が集中すると予想していた。しかし実際はどちらの候補にも多くのシールが貼られ、同じ学校に通い同じ教育を受けている生徒でも考え方に違いがあることを実感することができた。



▲支持の違いが視覚的に捉えられるものになった。

■考察

今回は「異なる価値観に触れる」「自分の考えを持つ」「自分の考えを表現する」を中心的な目標として取り組んだ。制作に携わった生徒たちが、この取り組みの目的を正しく理解していたことで、より目標達成に近く方向へと軌道修正することができたと感じる。今回の取り組みは、こうした生徒の問題解決力を育む取り組みにもなった。

また、掲示物はともすれば一方からの情報発信に陥ってしまう。そうではなく「参加型の掲示物」としたことで、より深みのある結果を得ることができた。こうした掲示物にしようと考えた生徒の感覚は、日頃のアクティブラーニングの実践で培われたものではないだろうかと考える。もしそうであるならば、NIE の実践と NIE 以外の実践は互いの教育効果を高め合うことができているといえる。

■成果と今後の課題

同じ学校に通う生徒であっても価値観の違いがあることに気付けた今回の取り組みは、グローバルリーダーへと成長していく上で大切な「多様性」について考える大きなきっかけになった。差異を乗り越え互いを認め受け入れる姿勢も、こうした気づきから始まるのではないだろうかと感じた。

今回の取り組みで得られた学びに満足できる部分もあったが、もう一重深みのある価値観の練磨を目指すのであれば、やはり新聞各社で主張が分かれる記事を取り扱う必要がある。そのためには、日本人として共通の捉え方になってしまう話題では不十分である。より効果的な話題を取り上げられるよう、ポスター制作の時期だけでなく、長期的なスパンで記事探しをしておくことが大切ではないかと考える。

また、国内の新聞だけを扱えば、日本人としての立場で事象を捉えることになる。そこで国外の新聞と比較することができれば、視野はもっと広がるのではないだろうか。

これからも新聞を活用して、さらに広い視野、さらに多様な価値観に触れていくことに挑戦できればと考えている。そして本校が SGH として目指している「使命感」「共感力」「問題解決力への創造力」を備えたグローバルリーダーを一人でも多く輩出していけるよう、さらに工夫を重ねた取り組みに挑戦していく決意である。